

■開催趣旨

次代を担う子どもたちが、いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、自分自身が暮らす地域では、どんな備えがしてあるか、見て歩き、これからの地域での暮らし方を考える防災まちあるきの実施

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 豊岡市子ども会連絡協議会会長 山本邦彦  
河部勇

スタッフ・記録 青少年活動リーダー 4名

■期日

2015年8月23日（日）9：30～12：30（3時間）

■会場

豊岡市但東健康福祉センター 2階 研修室

■参加者

24名（子ども13名、子ども会育成者11名）

■概要

災害への備えの大切さを伝える防災活動ハンドブック「子ども会でまなぼうさい活動BOOK」をもとに、体験学習としての防災まちあるきを体験し、防災・減災に向けて日ごろからの暮らし方を考えた。

■実施スケジュール

時間	内容
9：30	あいさつ 豊岡市子ども会連絡協議会会長 山本邦彦
9：35	オリエンテーション
9：45	お話し「まちの防災・減災について」語り部 山本邦彦 河部勇
10：20	まちの再発見！防災まちあるき ・アイスブレイキング ・まちを歩いて探検する時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをまとめる時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをわかちあう時間 ・体験から感じたことをわかちあう時間
12：30	あいさつ 豊岡市子ども会連絡協議会会長 山本邦彦

■会場の様子



語り部



まちあるき



まとめ



発表

■こどもたちによる防災の心得

- ・ そのとき安全な場所に逃げる
- ・ たくさんの避難場所を知っておく
- ・ 避難用のリュックサックを用意しておく
- ・ 水や非常食の準備をしておく
- ・ ライターを準備しておく
- ・ 避難訓練をする
- ・ どうすれば防ぐことができるか考えて実行する